

【2023年(令和5年)】

10月 木島平中学校 10人、引率3人がディーキルシュ市を訪問



在ルクセンブルク日本大使館でのレセプション



ディーキルシュ中等学校にて

【2023年(令和5年)】

【参加者の声】

・ルクセンブルクに行きたいと参加を希望しましたが、コミュニケーションがとれるだろうか心配で、不安になりました。ですが、不安は日本に置いて行くことができました。

初めて飛行機に乗る不安、初めての海外でスーツケースが届かなかったり、空港の検査ですべて引っかかってしまったりと、そのときは大変な思いをしましたが、今思えばそれらはすべて思い出深い忘れられないものになりました。

私は、この体験で英語力が上がったとは思いません。ですが伝えようとする気持ちが大切だということを学びました。自分の価値を見直す貴重な体験ができたことに感謝しています。

・この8日間は、私にとってとんでもない価値のある大切な宝物になりました。英語しか話せない環境に入ったことで、少しでも話して伝わるように努力できたし、耳も少しだけだけれど前よりも英語に慣れた気がしました。それに大好きな友達もできたし、たくさんの思い出を作ることもできました。時が戻るならもう一度ルクセンブルクに行ったりホームステイをしたりしたいけれど、過去には戻れないので、今回得たものを生活や勉強、社会に活かしていきたいと思っています。

このような素晴らしい貴重な体験をすることができたのも、このルクセンブルク訪問交流に関わってくださったたくさんの方々のおかげです。木島平村とルクセンブルクの学校の先生方、交流を計画していただいた方々、ホームステイを受け入れてくださった家族など、この訪問交流には、たくさんの人たちとお金がかかっています。この感謝を忘れることなく、これからも生活していけたらと思います。

・この8日間の生活では、感じることでできない世界の広さや多文化を五感で感ずることができました。事前学習でいろいろなことを学びましたが、いざ実際に現地に行くと、空気感から日本とは全く違い、食や建物、生活、価値観すべてが新鮮でした。また、分からないことや不安なこともありましたが、仲間と助け合ったりホストファミリーと多くコミュニケーションを取りながら無事、何の問題もなく過ごすことができました。

本当に私に関わってくださった方たちは、全員が優しく接してくれて、どこの人でもフレンドリーなルクセンブルクはとても居心地がよかったです。そして、私がこの交流や貴重な体験ができたのはたくさん準備をしてくださった村の方や先生方、両親の助けがあったからです。本当に感謝しています。

木島平村とルクセンブルクと歴史ある交流に参加できたことや、世界には自分の知らない文化やその国々の地形や気候からできた素晴らしい風景が、まだまだたくさん溢れていることの素晴らしさを知ることができました。私は、この8日間で出会った人々と、これからも連絡を取り続け、学んだこと感じたことを、またどこかで自分の力にしていきたいと思います。